



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 55

R2.6.4

今月のキーワード

学習評価について①

文字（アルファベット）の取り扱い

3月から続いた学校休業が開け、6月から通常の授業が始まりました。コロナウイルス感染防止対策を講じながら、音声面での指導を重視する英語の授業をどのように進めていくか、様々な気遣いをしながら授業を進められていることと思います。

そのような中、小学校5・6年生では、4月から「外国語科」（教科）が開始となりました。

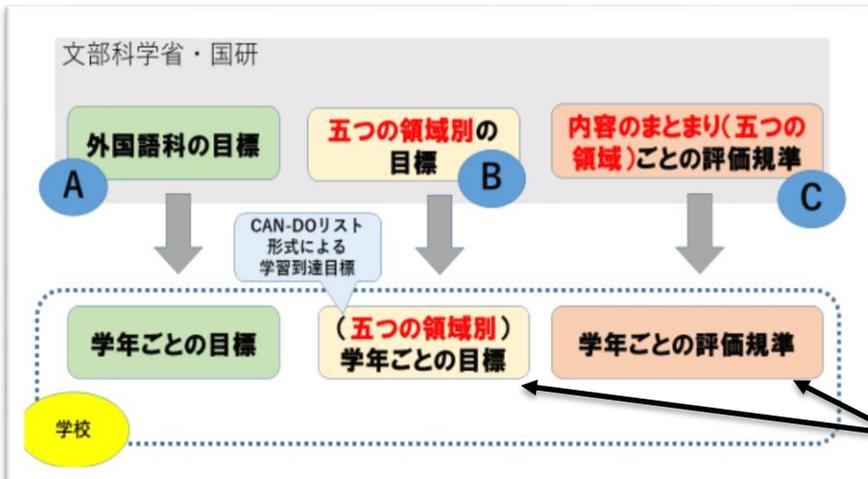
今回から数回に渡って、3月末に国立教育政策研究所より出された「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」や新学習指導要領及び解説をもとに、指導や評価について共有します。

学習評価について ①

下図は、文科省や国立教育政策研究所（国研）より示されている内容と、各学校で作成するものについて整理した図です。

学習指導要領にある「外国語科の目標」（下図A）を受けて、学校は「**学年ごとの目標**」を、「**五つの領域別の目標**」（B）を受けて「**（五つの領域別）学年ごとの目標**」を、国研の「**内容のまとまり（五つの領域）ごとの評価規準**」（C）を受けて「**学年ごとの評価規準**」を作成します。

外国語科は学年ごとの目標や評価が示されていないため、このような手順が必要になります。学習指導要領の第2章3「指導計画の作成と内容の取扱い」イにも学年ごとの目標を適切に定めることが示されています。



外国語科における「**内容のまとまり**」は、**五つの領域**

- 「聞くこと」「読むこと」
- 「話すこと [やり取り]」
- 「話すこと [発表]」
- 「書くこと」です。



学年ごとの目標や評価規準をもとに、各単元の目標や評価規準が設定されることとなります。

五つの領域ごとの観点別評価の考え方

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別評価	評定
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に学習に取り組む態度							

単元ごとに、全ての領域・観点（15の枠）について記録に残す評価を行う必要はありません。ただし、各単元において、3観点をバランスよく見取り、指導の改善に生かすことは大切です。

文字（アルファベット）の取り扱い



新学習指導要領において、文字（アルファベット）は、小学校の中学年・高学年の学習内容となりました。そのため中学校学習指導要領の目標及び内容に「アルファベットの活字体の大文字及び小文字」がなくなりました。中学校でアルファベットそのものの学習を全く行わないわけではありませんが、新出事項としては扱わないことになります。ここでは、小学校における文字の取り扱いについて、確認したいと思います。

○小学校中学年の「外国語活動」 ➡ 文字は「聞くこと」の領域で扱われています。



新学習指導要領解説より

(1) 聞くこと ウ 文字の読み方が発音されるのを効いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。

例えば大文字 A・小文字 a(エー)と発音されるのを聞いて、多くの文字の中から識別できるようにすることが求められています。

つながり

ポイント

文字の形を指導したり、文字をアルファベット順に暗記させたりするのではなく、身の回りに英語の文字がたくさんあることに気付かせるなど、楽しみながら慣れ親しめるようにしましょう。

○小学校高学年の「外国語科」 ➡ 文字は「読むこと」「書くこと」の領域で扱われています。

(2) 読むこと ア 活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。

活字体で書かれた文字の形の違いを識別し、文字を見て、その名称を発音できることが目標です。つまり、文字を見て、その文字の名前(A(エー)・B(ビー)など)を声に出して言えるようになることが指導の目標となります。



(4) 書くこと ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら発音で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。



大文字、小文字を正しく書き分けることを目指します。

「文字を書くこと」には「名前読み(エー・ビーなど)を聞いてその文字を書く」「書かれた文字を写す」などの活動がありますが、**暗記した綴りを思い出したりしながら文字を順番に書き出すなどの活動は小学校では求められていないことを確認してください。**

ポイント

A・H・I などの左右対称の文字、Cc・Jj・Kk など大文字と小文字の形がほぼ同じ文字など、特徴をとらえて指導すると効果的かもしれませんね。



※今年度、子ども向け英語イベント（夏休み中及びイングリッシュフォーラム等）は全て中止となります。教職員向け研修（ゆうがお C A F E）については、後期開催予定です。

文責 学校教育課 稲葉亜希恵